

会 議 録

1 会議名

令和8年度 第1回上越市立図書館協議会

2 議題等(全件公開)

(1) 報告事項

令和7年度 上越市立図書館事業実績報告について

(資料1、1-2、1-3、1-4)

令和8年度 図書館こども祭の開催実績について (資料2)

(2) その他

- ・図書館資料貸出配送サービス事業の実施について
- ・公の施設等の適正管理（開館時間や使用料の見直し）について

3 開催日時

令和8年7月16日（水） 午後2時00分から

4 開催場所

直江津学びの交流館 2階 多目的ホール

5 傍聴人の数

0人

6 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：渡部委員（委員長）、上原委員（副委員長）、赤松委員、内田委員、佐藤委員、清水委員、関澤委員、田邊委員、増川委員
- ・事務局：鋤柄高田図書館長、内山上席司書、宮崎副主幹、小林（佳）主任司書
大瀧直江津図書館長、丸山上席司書

<上越市立図書館条例施行規則第20条第2項の規定により渡部委員長が議長となる>

○令和7年度 上越市立図書館事業実績報告について

事務局 : 別紙資料1、1-2について概要説明

1-2の訂正

① p 1 2 その他の催し【高田】3事業→6事業

② p 7 6 学校等支援 学校来館利用【高田】

吉川高等学校→吉川高等特別支援学校

③ p 8～9 7 利用者登録の推進 ＊印→削除

赤松委員 : 限られた予算の中で視点を凝らし工夫して事業を行っており、アイデアが素晴らしい。事業の評価は参加者数だけではないが、参加者人数減少についての原因はどのようなものが考えられるか。

内山上席司書 : 令和 6 年度は直江津図書館で「壁面ぬり絵」を実施し参加者数が多かったが、ぬり絵そのものが目的となってしまう傾向があり、本に絡めた取り組みを行いたいという思いから、令和 7 年度は当該事業を減らしたため、参加者数の減の要因となった。

赤松委員 : 図書館のイベントは、参加者の興味を惹くものであるかが大切だが、参加しやすい会場か、曜日か等のリサーチをするとよいのではないか。

田邊委員 : 年間を通じて多彩な取り組みがあり、中でも学校の立場からは子どもの読書活動推進を重視しているのはありがたい。目標は毎年度設定しているか。

内山上席司書 : 毎年度の予算編成に合わせて設定している。

田邊委員 : 目標に達しなかった事業もあるが、目標値を落とさなかったことは大きなことである。実績が下がってしまったら、その数字に合わせて目標を下げるのではなく、きちんと目標を立て達成に向けて近づけたことは評価できる。

事務局 : 別紙資料 1－3、1－4 について概要説明

清水委員 : 細かく分析し根拠を持って事業につなげていることが分かった。中学の教員として気になる点は、小・中学校の学校貸出を見ると、小学校は一定数あるが中学になると落ちている。小学校は教員主導で図書館を利用することがあるが、中学校では自主的に借りる、教員が借りるよう言葉で促すに止まるので妥当な数字だと思う。

高校生ではどうか。図書館には高校生がたくさん見られるし、発達段階からじっくり本に親しむ年代ではあるが実態が見えにくい。

内山上席司書 : 肌感覚からすると利用実績は厳しい。日々試行錯誤している状態。職場体験学習の中学生に本のお話をすると興味を示す様子もあり、ちょうどヒットすれば手が伸びると思う。高田図書館は自習室が 1 階にあり、

よく利用されているが、2 階のティーンズコーナーに足が向き、たくさん並んでいる中から選ぶかといえば、難しい。

清水委員 : 中学校の例では、青空文庫を紹介するなど紙・電子に関わらずいろんな切り口で本に親しむことを促す取組をしている。

丸山上席司書 : 高校生の利用状況について補足説明する。上越市立図書館の登録者数について、人口に対する登録率を調査した資料（令和 8 年 1 月作成）では、高校生の登録率は 14.4%。

中学生では 19.8%、小学生では 33.1%のため、親や先生の指導の影響力が大きい年代に比べ高校生の登録率は低い。

しかし、その上の 22 歳までの年代では 11.9%、29 歳までの年代は 10.5%であり、高校生の登録率に比べると一般成人の登録率のほうが低い。

渡部委員長 : 受験勉強や部活動があり登録率が低いだろうとは思っていたが、むしろ大人よりは多いというのは興味深い。

佐藤委員 : もともと図書館が好きで有名図書館を中心に図書館巡りをするなかで、図書館利用について考えさせられるところがある。静かに本を読む勉強をするところから賑やかなところが変わってきている図書館もあり、そういう図書館では高校生の姿も多く見かける。

面白い取組として、「本の福袋」（テーマを決めているため興味を惹く）、「読書記録帳」（読書記録が印字され最後にご褒美あり）などがある。

高田図書館は、2 階の閲覧室で本を借りてもらうための 1 階での取組として、

①読んだ本を付箋に書いてもらいツリーの台紙に貼ってもらう。

②おすすめの本の背表紙を掲出する。

などができるのではないかな。

また、電子書籍の導入について詳しく知りたい。

鋤柄館長 : 1 階で本の紹介をするなど、学習室目的の子どもに向けての取組を進めていきたい。

電子書籍の導入については、令和 5 年より県内 29 市町村による共同

導入について検討しているが思うように進んでいない状態。電子書籍導入は市長公約でもあるため、単独であっても導入は進めたい。進捗状況は図書館協議会で報告していく。

○令和8年度 図書館こども祭の開催実績について

事務局 : 別紙資料2により概要説明

上原副委員長 : 毎年、子どもたちの笑顔に会いたいとの思いで図書館こども祭りに行っている。その際、直江津図書館のこどもとしょしつの自然科学分野の書棚が表紙を見せて並べてあり、周辺の本にも興味がわく魅力的な棚づくりだと感じた。図書館こども祭ではないが、直江津図書館でのうちわづくりで、父親と一生懸命作っていた様子が印象に残っている。ますます大盛況になるとよい。

丸山上席司書 : 直江津図書館の図書館こども祭で工作がなかったのは寂しかったとの思いもあり、その後の6月のイベントで実施した。

棚づくりについては、直江津図書館は高田図書館建設後に造ったため、高田図書館の様々な状況を参考にして書棚も用意することができた。こどもとしょしつには職員がいるため、高田図書館に比べアットホームな雰囲気交流できる利点がある。今後も職員と相談し工夫していきたい。

清水委員 : 広報の取組はどうか。

丸山上席司書 : 毎月発行の図書館だより『パピルス』、館内掲示、『広報上越』、上越市公式 SNS で広報活動を行っているが、何を見て参加しているかの分析はできていない。

そもそも図書館で行うイベントは、利用されたことがない方にイベントをきっかけとして来館してもらいたいとの思いで実施しているが、実際は日頃から来館されている方がお楽しみとして参加している状況。新規の利用者を呼び込むことが課題である。

○その他

1（上越市立図書館資料貸出配送サービスについて）

宮崎副主幹：口頭概要説明

障害や施設入所などにより図書館への来館が困難な市民を対象に、希望の図書を自宅等に届け読書ができる環境を整えるためのサービスを開始する。開始日は7月24日からを予定している。

2（公の施設の適正管理について）

宮崎副主幹：口頭概要説明

市全体で施設の開館時間、使用料の見直しを行っている。関係地域協議会での説明を実施中。12月市議会定例会で条例改正案を提案予定、改正後の条例の適用は令和9年4月1日から。最終的な変更内容は次の図書館協議会で報告する。

○開館時間の見直し検討内容

高田図書館の平日の閉館時刻：6月から9月の午後8時を見直し、年間を通じて午後7時

直江津図書館の平日の閉館時刻：午後8時を見直し、年間を通じて午後7時

高田・直江津図書館の土日祝日の閉館時刻：午後6時→5時30分
分館の土日祝日の閉館時刻：午後6時→午後5時

○使用料の見直し検討内容

高田図書館第1会議室：300円／時間→400円／時間

渡部委員長：なかなか図書館に来られない人にも本を届けることができる配送サービスが7月から始まることと、開館時間等の見直しについての報告に対して、御意見、御質問、ございますか。

（特に意見、質問なし）

無いようですので、本日用意させていただいた報告事項、その他に関わる説明、全体を通しまして何かありましたらお願いします。

（特に意見、質問なし）

では、本日の議事につきましてはこれで終了させていただきたいと思います。進行を事務局にお返しします。

事務局 : 次回の図書館協議会につきましては、11 月頃を予定しております。以上をもちまして本日の会議を閉会させていただきます。

8 問合せ先

教育委員会社会教育課高田図書館 TEL : 025-523-2603

E-mail : t-toshokan@city.joetsu.lg.jp

9 その他

別添の会議資料もあわせて参照ください。